

駒大を救った！



伊藤 慎人

試合後、応援に答えて勝利のガッツポーズをする伊藤

窮地に追い込まれていた駒大を救って見せた。朝鮮大戦では後半だけで4失点。守備陣の立て直しが急務だっただけに、新戦力の台頭は非常に大きかった。「緊張していた」と話したが、積極的に声を出し、気持ちは前面に押し出せていた。

え。さらにセットプレーから得点もマーク。三澤主将は「慎人はヘディングが強いので」と語り、起用がズバリ当たったと言えるだろう。

←確井の FK に完璧なヘディングシュートを決めた



堅守で後期初無失点

順位	チーム	勝	分	負	勝点	得失点差
1	東洋大	13	3	1	42	27
2	桐蔭大	11	2	4	35	15
3	駒大	9	3	5	30	7
4	法大	7	4	6	25	11
5	関学大	7	3	7	24	-2
6	東海大	7	2	8	23	0
7	青学大	6	4	7	22	-10
8	拓大	5	4	8	19	-4
9	朝鮮大	6	1	10	19	-9
10	平国大	6	1	10	19	-12
11	亜大	3	6	8	15	-11
12	日大	4	3	10	15	-12

1位東洋大は既に独走状態。東洋大の昇格・優勝はまず間違いないとみてよいだろう。気になるのは2位争い。今節は駒大と桐蔭大の直接対決がある。この結果次第で戦況は大きく変わってくる。

駒大は勝つことが出来なければ間違いなく終戦。是が非でも勝利が欲しい。一方で桐蔭大は引き分けでも十分な状況。この気持ちの差がどう表れるか。

残り5節。昇格争い、そして降格争いも佳境に突入してくる時期だ。試合も激しくなってくることが予想されるだけに、面白い試合が期待できる。

駒大はもう全勝するしかない1試合1試合気持ちのこもった駒大サッカーで勝利を目指してほしい。

(森下和貴)

昇格争いの行方は

守護神



復活した

主将&

→相手のシュートを体でブロックする三澤。この日は安定感のあるディフェンスが光った。

ようやくつかんだ零封での白星。やはり、前期と総理大臣杯の躍進を支えたこの二人の活躍は欠かせない。主将として牽引する三澤は、最近の試合で目立っていたミスを修正し、安定した守備を披露。

2試合ぶりスタメンの大石は、持ち味のシュートストップを見せ、ミラクルセーブを連発。いつも以上に気合のこもったプレーで、相手の攻撃をシャットアウトした。



2試合ぶりの出場も、幾度となく決定的なシーンを防ぐなど活躍した大石。常に声を張り上げディフェンスを盛り立てた。拓大も思わず頭を抱える。←